

教育

### 就学援助制度の周知徹底と入学準備金の3月支給を

## 最新の課税情報で判定

**問** 貧困家庭が本町においても増加しています。わずかな金額の不足で入学準備ができない家庭もあります。

**答** 就学援助制度は、子どもたちのすこやかな成長の基礎となる制度で、家庭の経済力の差をおぎなう制度でもありません。子どもたちが、不安を持たずに学習準備ができるように、現在の8月支給を就学前

の3月に前倒し、家庭の経済力に左右されずに子どもたちが夢と希望を持ってスタートできるようにするべきです。

**答** 須恵町立学校児童生徒就学援助制度により、経済的理由で就学困難な児童生徒に対し、必要な援助を行っています。目立つように色紙を使い、重要文書とし、学校から児童生徒を通して保護者に渡しています。(町広報紙やホームページにも掲載)



児玉 求 議員

最新の課税情報によって受給資格の該当者であるか否かの判断をするため、交付申請の時期を6月としています。3月支給では、前々年の課税情報

での判定となるため、入学後に非該当となり、返還請求手

続きが必要になる場合があり、難しいと考えます。

### JR香椎線の駅無人化撤回、糟屋郡町長会でJR九州に強く要請を協議済み

問

JR九州は2015年3月14日より宇美駅から西戸崎駅14駅の無人化を強行し、1年が経過。しかし、駅無人化後1年間改善点は見られず、安全が確保できているとはいえず、駅利用者の不安は解決されていません。

民営化後も、公共交通機関として一層の安全確保とサービスの向上が求められます。香椎線は、沿線住民にとって重要な交通手段です。安心・

安全の駅づくりはJR九州の責務です。糟屋郡町長会で強く要請し、駅無人化を撤回させるべきです。

答 中嶋町長

JR九州から香椎線無人化の話があった際に、糟屋地区市町長協議会で協議を行いました。

JRは民間企業であり、赤字路線であるため、経費削減を言われればそれ以上のことは言えないところもあります。

納税

### ふるさと納税への取り組みは

## サービス内容を一新

問

ふるさと納税は、故郷や好きな土地、親しみを感じる町などへ寄付し地域の取り組みを応援する制度です。お礼の品を送られ、税金の控除も受けられます。

2008年スタート以来、制度が浸透し、2013年は寄付による税金控除を受けた人13万人以上、自治体への寄付金140億円以上でした。

昨年からの制度改正で更に利用しやすくなり、寄付が増加すると推測されます。

2014年寄付金1位は平戸市で3万697件、12億7884万円です。須恵町では今年度より、ふるさと納税に関する業務を委託することですが、委託内容や、ふるさと納税の件数・金額拡大への町長の思いをお聞かせします。

答 中嶋町長

昨年度は、16件の寄付をいただき、納税額は21万7千円でした。

本来、出身地や馴染みのある地域を応援しようというの「ふるさと納税制度」ですが、欲しい品物や特産

品がある市町村に多くの納税がなされているのが現状です。

他市町村に納税されないよう何らかの形でふるさと納税制度を活かさなければと思っています。昨年度から取り組んでいる「須恵町の地方創生事業」の一環として、次のような業務を実績のある業者に委託し、サービス内容を一新したいと考えています。

- 納付書の発行からお礼状の発送まで納税に関する事務全般
- 須恵町にゆかりのある返礼品の選定
- ポータルサイトによる商品のPR活動



○寄付をいただいた方々に、商品カタログを作成し毎年送付

また、返礼品のひとつとして、本町におられる陶芸家の方に壺を制作していただき、壺と須恵町の養生味噌のセットを送ることも考えています。



今村 桂子 議員

# どげんなっとうと？

## 一／般／質／問



答弁中の中嶋町長

# 6

# 5